レッスン：PYR N0.38

テーマ：エレメント＋質疑応答

PYR No.38 KE06 No.4/S

私の姉妹・兄弟たち、

スピリット、光、火の子供達よ。私たちは常に主、絶対、主の聖性のなかに抱かれています。

　レッスンのなかで様々なアークエンジェルのオーダーは創造の諸世界においてそれぞれ特定の仕事をしていると述べました。それらのアークエンジェルの中にはこの実存の波動のなかで触れることのできるエレメントを担当しているものもあります。

　4つのエレメントがあり、それについては四面ピラミッドに関して説明しました。火のエレメントを管轄しているのはミカエルのオーダー、水のエレメントを管轄しているのはガブリエル、エーテル/水のエレメントを管轄しているのはラファエル、地のエレメントを管轄しているのは反対のものを管轄しているルシファーであると述べました。そして勿論それらのエレメント、それらのオーダーと直接つながっているわけではありませんが、エレメンタルのオーダーを通じてサマエル（訳注：サマエルは一般に堕天使、死の天使と言われています）のオーダーがあります。

　さて、この実在の波動の世界において、火のエレメントは触媒の働きをするエレメントであることを知っています。サイコノティカル界の高い波動においては、このエレメントは思考に関する主なエレメントとなっています。

　さて水のエレメントに関しては、この実在の波動の世界において水のエレメントとは何であるかをわかっていますね；それは他のエレメント達に一定のボリューム、固形としてのボリュームを持つ能力を与えます。このエレメントがなければ、私たちはこの実在の波動において、何であれ実際に実在し、手で触れることのものを持つことはできなかったでしょう。このエレメントはまた、実在の他の波動からのLifeをこの物質界の波動へとつなげています。

　空気/エーテルのエレメントに関しては特に何かを言う必要はありません。なぜなら、実在の他の波動のなかではこのエーテルだけがあるからです。エーテルとはなんでしょうか？それはLifeそれ自体からのエネルギーであり、それはLifeである　ということができます；それはエーテル・バイタリティー（＊訳注：エーテルの活力）の海であり、それなくしてはLifeは実在の諸世界に存在しないことでしょう。エーテルのエレメントは動きますが、実際にそのエーテルを空気と分離することはできません。

　地のエレメントに関しては、地のエレメントは実在の波動の世界だけのものです…実在の波動の世界において最も優勢なのは水のエレメントですが。

　このエーテルの活動の現象は人間に経験を与えるために惑星ロゴスによって使用されていますが、しかし私たちは常にこのエーテル・バイタリティーの中で泳いでいるのです。そしてエクササイズのなかでいわゆる分子呼吸にエネルギーを与えるようにと言う時、それは特定の器官からだけでなく、身体全体からこのエーテル・バイタリティーを吸収することができるようにしているのです。

　皆さんがこれを達成できるかどうか、答えはイエスです。そして皆さんは水のエレメントのなかでも呼吸することができます、口と鼻を同時に閉じていても呼吸することができるのです。

　さてエーテルの質に関してですが、レッスンのなかで運動エーテル、感覚エーテル、刻印エーテルがあると述べました；しかしまた創造エーテルもあります；4つの異なったエーテルの質がありますが、基本的にエーテルは同じです。

Page2

　 物質においてもっとも重要な質は何でしょうか？実在の波動においてもっとも優勢なのは何でしょうか？それは創造エーテルです。パーソナリティーはそれを意識的には使用しませんが、実在の世界においてもっとも必要とされているのはこのエーテルです。

　あなたはその通りだと言うかもしれません。しかしサイコノエティカル界ではどうでしょうか？そこでは私たちは実際に自分自身の環境、その中で自分が住む世界を創造しますが、それは創造エーテルを使うのではないでしょうか？

　答えはイエスです。しかしそれはあなたが日常生活で創造していること、同時に睡眠中に創造していること比較したら問題になりません。あなたは無数のエレメンタルを創造しています、そしてエレメンタルと言う時それは人間またはその他の生き物だけを意味するのではなく、環境までも創造します。そして勿論それが現在のパーソナリティーに特定の体験を与える理由でもあります。

　現在のパーソナリティーに特定の経験をすることを可能にするのは日常生活で築かれたエレメンタルだけでなく、眠っている時に築かれたエレメンタルにもよるのです。

　それでは再びエレメントに戻ります。4つのエレメントについて述べ、それらのエレメントはLifeそれ自体によって活性化されます。実際、エレメントはその最も精妙な波動においてはひとつであり；全ては火です。火のエレメントから火という現れがあるのです。そしてマインドに関してはマインドの他の異なった波動があり、それらは別のエレメントです。私たちが目で見て、実感できるエレメント以外にも他の3つのエレメントがあります。

　そうです、目に見えるエレメントは現象をもたらすものです。磁気のエレメント、電気のエレメントがあり、現在のためではない別のエレメントもあります。ですから、実存の諸世界では、全体としての創造の諸世界には7つのエレメントがあります。それらについてどのオーダーが管轄しているかは話しません。なぜなら、それらは精妙なヒポスタシスだからです。

　さて、人体についてはいくつのエレメントが使われていますか？人体を生み出すのにいくつのエレメントが使用されていると思いますか？地のエレメントがあり、水のエレメント、火のエレメント、そして空気のエレメントがあります。なぜなら空気なくして私たちは実存できません。他にもあるでしょうか？磁気もありますか？実際、私たちの内側にはそれら7つのエレメントがあります。それゆえに現在のパーソナリティーは、Lifeそれ自体をもっと表現することによって、

創造の諸世界において多くの現象を行うことができるのです。なぜなら、Lifeからの全ては現在のパーソナリティーのなかに見いだすことができるからです。

　他のレッスンで、神は全ての人のなかにある、と述べました。現在のパーソナリティーを活性化するLifeのスパークは全体と変わりません。そして全体と言う時、絶対存在の多重性のワンネスを意味します。ですから何であれ絶対存在のなかにあるものは同時に最小のなかにもあります。そして最小のものですら最大のものを包むことができるのです。

　さて4面ピラミッドをマスターするという時、それは勿論特定のサイクルのなかにあるのですが；実際何が起きるのでしょうか？様々なエレメントをマスターするための可能性、能力はどこに見いだすことができるのでしょうか？私たちから離れたところにあるのでしょうか？遠くにあるのでしょうか？

　答えはノーです。皆さんにはすでにこの能力があるのですが、それを表現しないだけです。実際、繰り返しますが、能力としての全ては現在のパーソナリティーの中にあります。そして可能性、能力として現わされるべきもの、影はそれらを内側から現わそうと試みなければならないのです。そして影という時、それは現在のパーソナリティーを意味します。

　そうです、それら全ての法則は特定のサイクルのなかにあると述べ、それらは現在のパーソナリティーのなかに、あなた方のなかにあるのです。

四面ピラミッドは特定の法則を意味し；三面ピラミッドは特定のサイクルにおいてLifeから可能性としてどれだけ与えられているかを意味します、その結果それらのサイクルをマスターするパーソナリティーがLifeの本質を特定の程度まで現わすことができるように。

　現在のパーソナリティーは思考の結果として無数のエレメンタルを創造する、と述べました。そして思考は二元性の結果です。思考とは絶えざる問いと答えの以外の何ものでもありません。私たちは自分自身に問いを発し、同時に自分自身に答えています。何かにフォーカスし、それを他と比較します。このプロセスの結果として、私たちは考えを現し、エレメンタルを創造します。

Page3

　エレメンタルを創造するというこのプロセスのスイッチを切ることは可能でしょうか？実際、コミュニケーションの手段として、そしてあなたが存在しているという状態を理解する手段として考えを使用している間は、それは不可能です。そして思考が肉体によって使用されないという現象がありますが、そのような現象とは人間が植物状態になった状態です。

　この現象は勿論現在のパーソナリティーが肉体を使用している間にだけ生じます。この現象はサイコノエティカル体だけを使用して自分というものを現わしている現在のパーソナリティーには生じません。寝ている間はこの現象は生じませんが、しかし、その特定のパーソナリティーが眠りの状態にある時、または目覚めている状態で現象的に思考を現わしていない時、このリアリティーを目撃する器官がありません。なぜならば、この思考の活動は脳を通らないからです。

　現在まで科学者達が発見した全ての器官は、何であれ人間の脳を通過する手段だけです。しかしそのパーソナリティーは実在の他の波動で考えており、肉体からの反応がまったくないサイコノエティカルな世界で考えています。なぜなら、実際、二元性の現れであるそのパーソナリティーは人体につながっていないからです。

　私たちはエレメンタルを願望想念型、そして想念願望型に分けてきました。実際、全てのエレメンタルには顕著に働く願望がありますが、考えと願望に分けられます。しかし、想念願望型のエレメンタルの場合には、その願望はLifeそれ自体ために向けられています。言い換えれば、願望はLifeから引き出されてくる原理によって支配されているのです。

　レッスンのなかで、現在のパーソナリティーが想念願望型のエレメンタルを現わすのは、現在のパーソナリティーが3番目のサイクルにいる時、そして稀には2番目のサイクルの終わり頃であると説明しました。時々、あなたが自由である時、あなたはLifeにチャンスを与え、想念願望型のエレメンタルを創造する状態にいます。

　しかし、あなたが3番目のサイクルに入ると想念願望型のエレメンタルは、2番目のサイクルにいる時よりも頻繁に生じます。そして勿論、4番目のサイクルに入る時には想念願望型のエレメンタルだけを現わします。なぜなら、その時あなたはいわゆる超意識的意識のセルフエピグノシスを現わしているからです。

　そして勿論、何であれ私たちが創造するものに応じて、その結果の中に身を置くことになります。そしてその結果は原因・結果の法則によって支配されます。私たちは自分自身を特定の体験と結びつけますが、しかし関わるのは原因・結果の法則だけではありません。このプロセスには他の法則も関係しています。

　そしてレッスンで説明したように、私たちがする経験は私たちに対してのみならず、与えられた環境にも向けられています。それらは同時に他の人々とも結びついており、最終的には全体としての惑星の体験とも関係します。なぜなら、私たち各人は惑星上の全てのLifeのスパークと結びついて、惑星ロゴスが下す決断…洪水、地震そして戦争など…に影響を与えているからです。

Q：Widest of Heavens（最も広大なヘブン）の役割は何ですか？

K：Widest of Heavens、つまり聖なる母はLifeそれ自身の主な特質の一つであり、それはLifeです。しかし同時にそれはLifeの一つの質です。それ自身の中におけるLifeそれ自身の現れがこの法則を法則として使うのは、その法則と質です…それによってその質と特質がヒポスタシスではなくてその役割を取り、そしてLifeの現れとして全てが彼女を通過し、その結果諸宇宙が誕生し、そしてLifeが誕生するようにです。

　Widest of Heavensはイエスキリストロゴス絶対存在の母であるのみならず、絶対存在は彼女を通じてそれ自身を現わしてさえいます。それゆえに私たちはWidest of Heavensは創造の大きな母であると呼んでいるのです。しかし同時にそれはまたLifeそれ自身を現わそうとしているLifeのあらゆるフォームの母です。

Page4

　聖なる母は何であれLifeからのものを与え、それはあなた方全員の中にあり、宇宙の中にあります。なぜなら、神は宇宙のなかにあり、神がいるところにはどこでも彼女がいるからです。

レッスンのなかで、現在のパーソナリティーでさえ彼女から生まれたと述べました。そして肉体だけが聖霊的に築かれたのであり、Lifeは創造物ではありません。Lifeは常に彼女を通じて生まれるのです。一人の母親が出産する時には、実際には出産するのは聖なる母なのです。そして、いつでも誰かが誕生するときには私たちはひざまずくべきです。なぜならその時には聖なる母がそこにいるからです。

　ですから、現在のパーソナリティーが誕生し、そして肉体が築かれます。サイコノエティカル体は築かれるのではなく、それはロゴス的現れであり、誕生するのです。

　Widest of Heavensのシンボルは八芒星であり、それは私たちがアプローチすることのできない聖性を意味する星の一つです。それゆえに人間はWidest of Heavensのことをあまり知らず、同時に聖母マリアについてもほとんど知らないのです。

Q：信仰のエレメンタルと見なされるものは何ですか？

K：信仰のエレメンタルはほとんどの信念、信仰のなかに存在しています。そこでは人々は何か具体的なものなしに信じており、彼等はこの神への信仰、信念の結果としてエレメンタルを創造します。彼等がある程度まで理解できる神への信仰の結果として。もっとも古い宗教でさえ信仰に基づいています。しかし今日の宗教でさえも信仰、信念に基づいています。

　地球上における信仰、信念の結果として特定の宗教に従っています。いいですか、何であれ信念の結果であり、多くの人間がその方向にフォーカスしています。そして何であれその信念の結果として彼等が築くものが非常にパワフルで集中的なエネルギーになり得ます。そしてこの集中的なエネルギーは現象を起こすことさえできるのです。それは巨大なエレメンタルです。

　私たちはキリスト教の信仰にさえアプローチしています。私たちは自分達が神であると信じている神にどのようにアプローチしているでしょうか？あるいはロゴス、あるいはWidest of Heavensに対してどのようにアプローチしているでしょうか？現れはエレメンタルの創造を通じてそれにアプローチします。ある特定のエレメンタルに対する信念が強いほど、それは強力になり、その結果としてある特定の場所などで聖なる現象という結果が生じます…治癒と助けを求めて多くの巡礼者達が訪れる特定の場所において。勿論、Lifeは全ての人々、全ての場所を平等に抱きしめます。

Q：ヒーリングの質問です。

K：レッスンで学びました、各体にはそのダブル・エーテリック（訳注：各体にはそのエーテル体が重なっている）があると。ノエティカル体のダブル・エーテリック、サイキカル体のダブル・エーテリックがあり、そして肉体のダブル・エーテリックもあります。なぜそれらはダブル・エーテリックと言うのでしょうか？なぜなら、それら（＊ダブル・エーテリックのこと）は他の体をつなげているからです。ノエティカル体はそれ自身をサイキカル体とつなげ、そしてサイキカル体はそれ自身が肉体とつながっています。実際、ダブル・エーテリックは同じ質です。ですからエクササイズのなかで一つのダブル・エーテリックを他と分離させることはできないと述べたのです。そして全ての体はお互いに他の体のなかにあるので、実際には3つのダブル・エーテリックがあるにもかかわらず、私たちはそれを一つと見ます。

　さて、薬は実際これらのダブル・エーテリックに働きます…薬は肉体に、言い換えれば現在のパーソナリティーに与えられているにも関わらず。私たちのバランスが良くないとき、精神科医は特定の薬を与え、その薬はサイコノエティカル体のダブル・エーテリックに働きかけます。これが薬に関する説明です。

　サイキカルあるいはスピリチュアル・ヒーリングについても、ダブル・エーテリックに働きかけ、肉体の両手を使いますが肉体の手による働きではありません。必ずしも両手を使う必要もありません。肉体またはサイキカル体と共にあるあなたは必要ないので、遠く離れていても助けを相手に与えることができるのです。あなたがそこにいなくても、何であれ必要なワークを投射することができ、現象的には別の仕方であなたはそこにいるのです。

　繰り返すと、治療はそれが人間や科学者に知られている医学的方法であれ、サイキカルまたはスピリチュアルなヒーリングであっても、それはダブル・エーテリックに働きかけています。実際それは鋳型です。しかし、同時にダブル・エーテリックは単に鋳型だけではなく、それを通じてその相似形である体がエネルギーを受け取る手段でもあるのです。その手段を通じて相似形である体にエーテルの活力、エネルギーが与えられるのです。

　勿論、ドラッグの使用はダブル・エーテリックに影響を与え、現在のパーソナリティーの現れがアンバランスになります。現在のパーソナリティーの諸体をアンバランスにするのはとても簡単ですが、その後にそれを治し、再びバランスを取り戻すのは困難です。時には、それは転生から転生へとアンバランスな状態が続くこともあります。それゆえにドラッグの使用は避けるべきなのです。

　ドラッグのなかには現在のパーソナリティーには影響を与えず、肉体だけに影響するものもあります。モルフィネなどは現在のパーソナリティーに影響を与えます。なぜなら、それはサイキカル体とノエティカル体のダブル・エーテリックに働きかける、つまり相似形の体に影響を与えるからです。もちろん、短期間、痛みを軽減するためなら中毒にはならないので心配する必要はありません。

　両親はドラッグ使用者ではないのに、子供の時から中毒になっている子供が生まれてきますが、その場合明らかにその子供の過去生からの影響、あるいは中毒になっている母親から生まれた子供です。

　時には痛みや深刻な病気の場合、そのパーソナリティーは目覚めていないのに何かを話す時があります。この場合、身体が意識を現わしていて、それがマインドを通じてそのパーソナリティー自身に翻訳されるのです。過去のレッスンで人間の脳ですらそれ自体の意識がある、と述べました。なぜなら、そのように訓練されているからです。

　例えば、エクソマトシス（＊幽体離脱）の場合、肉体から抜け出て、サイコノエティカル体は自分が行っていることを完全に意識しています。完全に意識しているということは、超意識的意識のセルフエピグノシスを現していることを意味します。何であれそこで行動し、そこで多重性すら現わします。

　あなたが肉体に戻ると、肉体が夢をみており、同時に創造していることを見いだします。肉体は何を創造しているのでしょうか？何であれ潜在意識にあることです。脳それ自体は常に活動しています。肉体の脳はそのなかで活動していないなどと信じないでください；それは活動しており、生きています。

　もし肉体脳からこのような活動を取り去ると、そのパーソナリティーは身体を去って、二元性を現わすことができないでしょう。以前のレッスンで述べたそのような場合、植物人間になっているのは脳がダメージを受けているからです。もし脳がダメージを受けると、脳とつながることができず、脳を使って二元性を現わすことが不可能になります。なぜなら実際に思考の中心は脳にあるのではなく、ノエティカル体だからです。しかし、脳はバッテリーであり、充電されたバッテリーなのです。そしてそこは充電されています。そしてその充電のゆえに、そのパーソナリティーが目覚めている時にはエレメンタルを創造し、夢を見るのです。脳の大きな部分が取り除かれても、その活動が停止しない場合もあります。

　その理由は、それは脳だけでなく、二元性が働いているからです。現在のパーソナリティーそれ自体の二元性が働いています。なぜなら、二元性は肉体ではなくそのパーソナリティー自身が現わしているからです。その理由は、現在のパーソナリティーを活性化するLifeのスパークは大部分サイコノエティカル体に根ざしており、その体は肉体につながっているからです。そして肉体はLifeのスパークにつながっています。しかし、その肉体自体は聖霊的に維持されています。

　しかし肉体の健康はサイコノエティカル体の現れに依存しています。つまり、思考・行動の仕方です。感情の現れに依存し、感情は思考に影響を与えます。その結果肉体が影響を受けます。

Q：ひっきりなしに脳が活動しているのに、そのことを回想のなかでしか気づいていない場合、現在のパーソナリティーに何か影響があるでしょうか？

Page6

K：　眠ろうとしている時に、思考に他からの介入があるかどうかという点なら、答えはイエスです。これは現在のパーソナリティーが肉体ときちんとつながっていない時に生じます。もう一つのケースでは、いわゆる超越瞑想を通じて潜在意識のマインド（＊自分のではなく人類のマインド）を開こうとする時です、その時にはサイコノエティカル体と肉体とのつながりが弱くなります。

　これはまさしく毎回あなたが眠りに入ろうとする時に生じます。あなたはすぐにその状態を通過しますが、しかし超越瞑想をしている時にはその状態、ステートが長く続きます。ずっと長く続き、それゆえに危険なのです。なぜなら、あなたは潜在意識とつながり、同時に肉体の脳が現わし、創造しているものによって介入されるからです。そのような状態に自分をさらすことを避けるのはとても重要なことです。そのような状態において、肉体とサイコノエティカル体とのつながりが弱くなり、潜在意識にあるものが表面に浮上してくるのを許すからです。

　それゆえ、常に自分がしていることに常に気づいている機敏な状態にあるようにし、サイコノエティカル体とつながっているようにすることが重要なのです。

レッスン PYR38 エクササイズ　１

　目を閉じて静かに座り、心を騒がせるものすべてを手放します…真っ白な自分を見て、自分の境界を感じます…同時に純白の五芒星のなかで守られているのを見ます…

　あなたは今現在のパーソナリティーの部屋の真ん中に立っています…あなたは正面の白く輝いている壁に面しています、右には赤の輝き、後ろにはホワイトブルーの輝き、左にはウルトラバイオレットの輝きがあり、周囲には4つの輝き、4つの壁があります…

　このあなたの部屋が徐々にホワイトブルーの霧のような輝きによって満たされるのをみます…それは霧のようにみえますが、それが部屋全体を包んでいきます…それを感じ、それによって包まれているのを感じます…それはとても気持ちの良い明るい水色で、それは命を与えてくれます…

　この霧のような光の輝きが部屋の中に充満しており、部屋の壁からの光をはっきりと見ることができません…

　それでは正面にフォーカスし、この霧を通して正面の壁を見ることができるように願い、それに成功すると確信します…

　徐々にあなたの部屋のなかの霧を通して、正面に純白の光を見ることができます…

　右に90度回転し、今目の前に赤い光が見えます…この赤い輝きの光を見ます…

さらに90度回転し、ホワイトブルーの壁に面しています…あなたは徐々にこの輝きの効果を感じます…

それでは180度左に回転し、再び純白の輝きに面しています…再びこの純白の光のあなたに対する効果を感じます…

　90度左に回転し、ウルトラバイオレットの光の壁に面しています…徐々にあなたに対するこの光の効果を感じます…

　それでは右に90度回転すると、再び正面に純白に輝く壁があります…この純白の輝きがあなたに与える効果に気づきながら、静かに留まります…

　それらの輝きの臨在を感じさせてくれたアークエンジェル達に感謝をし、将来それらのアークエンジェル達と一緒に働くことができるようになることを願います。終わります。

EREVNA PYR38 /KE06/4/S